

組織局に寄せられた実行委員と昭和40年卒の意見・感想

(3H組卒業 菊川 知愛)

1. 懇親総会に関する感想・意見

お疲れ様でした。

とても良かった、素晴らしかったと思います。

高校時代の同級生、あるいは大学に入って初めて知った戸山卒業生などとも会うことができました。

とても懐かしく、また楽しく過ごすことができました。

同窓会幹事の皆さんの努力のおかげだと考えます。

ありがとうございました。

時々送られてくる、この「都立戸山高校1965年卒業学年同窓会メールニュース」もありがたく読ませて頂きました。

同窓会の準備進捗状況の全体像も事前によく分かるとともに、誰が参加するのか等もよく分かり、たいへん助かりました。

何はともあれ、ありがとうございました。

改善希望点

”乾杯”の音頭を取る方のスピーチ、とても長く感じました。

事前に「スピーチは短く」の話、してあったのだとは思いますが……

(3F 高辻ひろみ)

1. 懇親総会に関する感想・意見

ご苦労の甲斐があって、ビデオがよかったと思います。挨拶の長い方があり、少しダレたところもありました。

2. 同期会に関する感想・意見

同期会は、挨拶などセレモニーを極力排して、自由に語れる場にしてほしかったと思います。(2次会のことについてのご質問と受け取って答えております)

3. クラス会その他に関する感想・意見

これを機に、ホームページの掲示板がもっと活用されるようになれば、と思っております。

4. 今後の同期会の活動に対する要望など

格別ありませんが、今回これだけの方が集まったのはやはりIT社会のおかげだと思いますので、今後もこの手段は活用したいものと思っております。

以上

(関根 光男 3 C)

幹事の皆様、お疲れ様でした。

40年卒のホームページを見ますと、かなり前から大変な準備をされたのだと知りました。

40年ぶりにたくさんの懐かしい同期の方々と会え、人生の2/3にもあたる40年が短くも、また半世紀近くの長さを実感しました。

貴重な時間と場を提供していただきまして、ありがとうございました。

40年卒業生の記念写真もホームページに早々と載り、出席できなかった友人にプリントして郵送してあげることができました。

特に提案というようなことはありませんが、出席者の名札に各学年のときのクラス名も併記してあれば、更によかったのではないかと思います。

40年ぶりに出席しました私には、何となく顔は覚えているけど、何年の時に同じクラスだったか、思い出せず、何となく話しかけるきっかけがつかめなかったということもありました。

妻の出身校の立川高校では、各学年のクラス名を名札に書いていたとのことでした。準備は大変でしょうが、一度作ってしまえば、その後もずっと使えますので、試みる価値はあるかと思えます。

同期会の各テーブルのスナップ写真を幹事の和田さんが撮っていらっしゃいましたが、我々のテーブルのところでは、デジカメがうまく作動せず、私のデジカメを使っていたいただきました。

CDを郵送しようと思っていたのですが、このメールに添付させていただきます。ご利用していただければありがたく思います。

(3 B 上杉(吉永)佐代子)

みなさま、

昨日は楽しい一日をありがとうございました。

実行委員の皆様、一年半の長きに渡っての準備、本当にお疲れ様でした。これまで城北会総会に出席したことはないのですが、野田さんの歌もあり、きっと他の学年担当より素晴らしい総会だったのではないかとおもいます。

また、同期会や三次会まで用意していただき、本当にありがとうございました。

いろいろな方の話を聞いて、自分の世界が少しでも広がっていくのが嬉しいです。(まだ成長中!!)

帰りの新幹線、静岡地域の大雨で運行が見合わされてしまい、家に着いたのは真夜中！ 楽しいことの後にはそんなこともあっていいのかな、と思っています。

地方に住んでいるためいつも何もお手伝いできず、心苦しく思っていますが、また皆さんにお目にかかれる機会を楽しみにしています。

みなさま、お疲れがでませんように。

城北会の感想 (3F 松井 清)

まず全体から。

一番にあげるのはやはり500人集められて良かった。S39～S10で6/26～7/9の間に74名増加したというのは驚きました。組織の努力と幹事年を経験した学年の力、そして城北会事務局の強力なバックアップによるものだと思います。我々の先輩に感謝しましょう。パイラスクラブにもお礼に行きましょう。そして、来年からは我々が幹事年をバックアップしなければならないことも自覚しましょう。

そして、城北会事務局の話で、城北会費の納入はS40卒が一番悪いと言うことも気にしておきましょう。

今後これを良くするのが今回の事務局のご協力に対するお礼と思ってます。

S40が151人の大量動員を出来たのは、10年前から時々同期会をしてきたことが大きいと思います。

そして我が3Fが目標20名を達成できたのも、2度にわたるミニクラス会で理解を得られたことが大きいと思います。

次に企画

私の場合は、野田さんの歌をもっとも効果的に聴いてもらうための環境を作る、そのために音響を中心に準備しました。

今まで同窓会で演奏等を行ってみんな聞いていないと言う悲惨な光景を何度か経験していたので、同窓会で野田さんを歌わせる案には最初は懐疑的でした、しかし冒頭に歌う案が出てこれなら行けると思い賛成しました。

ホテルの音響さんと話して見たらかなりなれているのでこれなら進行表さえきちんと作れば大丈夫という感触を得ました。

あとは当日です。茂木さんたちプロのリハーサルのやり方には感心しました。これで進行は大丈夫と思いました。

リハーサルで野田さんが歌った時、PAの音を聞いてこれなら500人のざわめきに勝てると思いました。

しかし冒頭の野田さんの歌で会場がシーンとなってしまったのは、野田さんの力です。これは想像以上の効果で、私もびっくりしました。

やはり公演回数2800回の重みで、とても人を引きつける、説得力のある演奏でした。あとは企画の方針が決まってからのみんなの集中力には感心しました。

進行表はどんどん改良され、司会もかなりこなれてきました。

ビデオも最後までかかりましたが、やはり映像と音楽のバランス、全体のテンポ、JAZZのアドリブにも似た遊び心が、うまく配合されて、良いものが出来ていました。当日のカメラワークもなかなか良かった。

その中で、インタビューもぶっつけ本番に近い状態にも関わらず、無事終了。

ただ、音響の反省点としては、先生のインタビューは会場後ろのS40のテーブルの位置では、聞こえにくかった。先生の胸に小さなワイヤレスを用意してつけるべきだったかと、反省しております。(予想できませんでした。)

久野さん校歌の伴奏ご苦労様でした。ホテルの音響さんがマイクをピアノの中に無理につっこんだのにはびっくりしました。録音ではやらないセッティングですが、PAでは周りのノイズを拾わないためには合理的だと思いました。

以上まとまりが無く済みません。